

令和3年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	29	学校名	王寺工業高等学校
----	----	-----	----------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	「地域で活かす王工力」
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	「生徒会活動」に相当。地域と連携した取組を行うことで、奉仕の精神を養う。また、地域の中学生と協働作業を行い、地域の絆を深める。
連携・協働相手	王寺町危機管理室、王寺中学校、王寺町クリエイトクリーンサークル(CCC)
地域と共有している目標・課題等	地域の防災・安全事業に参加することで、地域の文化力向上に寄与する。また、町民の健康と快適な生活確保に寄与する。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
<p>本校と王寺町との間に結ばれた「連携協力協定」に基づき、地域との連携・協力活動として、王寺南小学校児童に向けた「夏休み工作教室」のサポート、王寺中学校へ本校生徒による「プログラミング基礎講座」、町危機管理室・交通安全団体・王寺中学校との協働による「飛び出し坊や」の作成、町CCC活動への参画、吹奏楽部による施設訪問演奏等を予定していた。しかし今年度、コロナ禍の中において実施できたのは「飛び出し坊や」の作成と町CCC活動への参加であった。限られた活動の中「地域で活かす王工力」を示すことができた。</p>	

2. 事業の成果と課題

<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍といった制約の中での実施となり、全学年で実施できなかったことが課題である。例年は、生徒が地域に貢献できる場面が多様で、多くの生徒が参画できる機会が与えられている。今年度においては、参画機会が限られたため、多くの生徒に「地域に貢献できている」という思いを持たせることは、例年よりも不十分に終わった。 ・これからは、それぞれの機会を大切に、「量より質」、生徒一人一人が地域の活性化に貢献していると感じるような取組を進めていきたい。これまでの取組を大切にした上で地域の期待・要請に応えることと、学校側から地域への発信・要望することとの両立・整理を図りたい。 ・それぞれの取組を無理なく継続的に行うことができ、生徒にとって学びのある活動となるように進めていきたい。

